

CASBEE京都-新築(2015年版)

(仮称)ホテル京都清水五条新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE京都-新築 (2015年版)

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

スコアシート		実施設計段階									
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
				評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質											2.6
Q1 室内環境							0.40		-		3.0
1 音環境						2.6	0.15	2.7	1.00		2.6
1.1 騒音						3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音						3.0	0.40	3.4	0.40		
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					LL45	3.0	-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					LH50	3.0	-	4.0	0.20		
1.3 吸音						1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境						3.0	0.35	3.0	1.00		3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境						3.3	0.25	3.3	1.00		3.3
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率				●自然	A(全国版準用)	5.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口						-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				●自然	B(推奨内容)	3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策						3.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御				●自然	B(推奨内容)	3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境						2.6	0.25	3.0	1.00		2.8
4.1 発生源対策						3.0	0.50	3.0	0.63		
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0	1.00		
2 アスベスト対策						-	-	-	-		
4.2 換気						3.0	0.30	3.0	0.38		
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				●自然	A(全国版準用)	3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理						1.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視						3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御						1.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-		2.6
1 機能性						2.4	0.40	2.0	1.00		2.1
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	2.0	0.60		
1 広さ・収納性						3.0	-	1.0	0.50		
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0	0.50		
3 バリアフリー計画				●大切	D(独自基準)	3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観				●とも	C(独自加点)	3.0	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-	-		
3 内装計画				●自然	D(独自基準)	1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務						-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30	-	-		3.2
2.1 耐震・免震						3.0	0.50	-	-		
1 耐震性						3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能						3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数						3.8	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				●大切	A(全国版準用)	3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						5.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-		

2.4 信頼性	1	空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
	3	電気設備				3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		
						3.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性						3.0	0.30	2.6	1.00	2.7	
3.1 空間のゆとり						-	-	2.2	0.50		
	1 階高のゆとり					3.0	-	1.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)	2～7階客室(S1)-0.20			3.0	-	4.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり						3.0	-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性						3.0	1.00	-	-		
1 空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)				3.0	0.20	-	-		
2 給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)				3.0	0.20	-	-		
3 電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)				3.0	0.10	-	-		
4 通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)				3.0	0.10	-	-		
5 設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)				3.0	0.20	-	-		
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.2	
1 生物環境の保全と創出						1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮						3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	●とも、自然	A'(全国版準用)				3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	●とも	A(全国版準用)				2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.3	
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.5	
1 建物外皮の熱負荷抑制						3.0	0.20	-	-	3.0	
2 自然エネルギー利用						3.0	0.10	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化						4.0	0.50	-	-	4.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)						LED照明等の高効率設備機器の採用	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)						-	-	-	-		
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-		
4.1 モニタリング						3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制						3.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価						-	-	-	-		
4.1 モニタリング						3.0	-	-	-		
4.2 運用管理体制						3.0	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.3	
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1 節水			節水型水栓に加え、節水型便器を採用している			4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)				3.0	0.70	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減						3.3	0.60	-	-	3.3	
2.1 材料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)				3.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用						3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)				3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)				3.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材	●自然	B(推奨内容) D(独自基準)				2.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)	LGS下地、OAフロアの採用			5.0	0.20	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.3	0.20	-	-	3.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用						防水工事のプライマー	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-		
1 消火剤						-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)						3.0	0.50	-	-		
3 冷媒						3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮						LCCO2排出率=76%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮						2.5	0.33	-	-	2.5	
2.1 大気汚染防止			エコジョーズを採用			4.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善	●とも	A(全国版準用)				2.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.3	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減						-	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.33	-	-		
3 交通負荷抑制						1.0	0.33	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制						3.0	0.33	-	-		
3 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-		
1 騒音						3.0	1.00	-	-		
2 振動						-	-	-	-		
3 悪臭						-	-	-	-		
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制						3.0	0.40	-	-		
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制						-	-	-	-		
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制						3.0	0.20	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策						3.0	0.70	-	-		
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●とも	B(推奨内容)				3.0	0.30	-	-		

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う「とも」:ともに使う「自然」:自然からつくる